

平成30年度

芝浦工業大学校友会 全国総会懇親会

「出合いがある……校友会
さらに広げよう……同窓の輪」



日時 平成30年6月9日（土）午後1時

会場 品川プリンスホテル アネックスタワー5F

プログラム

【全国支部連絡会】

開 会 挨拶 会 長 鈴 見 健 夫
司 会 副 会 長 林 田 和 雄

【定期総会】

開 会 宣 言 常 任 幹 事 渡 辺 通 宏
議 長 選 出 ・ 議 長 挨 拶 仮 議 長 (会 長) 鈴 見 健 夫

「議事」

1. 平成 29 年度 事業報告
2. 平成 29 年度 会計報告
3. 平成 29 年度 監査報告
4. 平成 30 年度 事業計画 (案)
5. 平成 30 年度 予算 (案)
6. 会則一部変更について
7. その他

【幹事会】

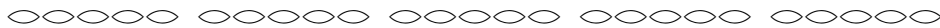
開 会 宣 言
議 長 選 出 ・ 議 長 挨 拶 仮 議 長 (会 長) 鈴 見 健 夫

「審議事項」

1. 新規常任幹事承認の件

「報告事項」

1. 各委員会委員長報告



【懇親会】

司 会 (実行委員 渡辺 通宏)

開 会 挨拶 実 行 委 員 長 永 田 昂 生
校 友 会 会 長 挨 拶 校 友 会 会 長 鈴 見 健 夫
来 賓 挨 拶 (学法)芝浦工業大学理事長 五十嵐 久 也
来 賓 挨 拶 芝 浦 工 業 大 学 学 長 村 上 雅 人
来 賓 挨 拶 後 援 会 会 長 小 倉 尚 信 夫
功 勞 者 表 彰 校 友 会 会 長 鈴 見 健 夫
優 秀 学 生 団 体 表 彰 校 友 会 会 長 鈴 見 健 夫
乾 杯 校 友 会 副 会 長 加 藤 善 次 郎
飲 談 ・ 会 食
ア ト ラ ク シ ョ ン 芝 浦 工 業 大 学 学 生 サ ー ク ル (SORAN)
熱 血 オ ヤ ジ バ ン ド (THE FOREVER FOUR)

抽 選 会
校 歌 斉 唱 桑 原 和 明
閉 会 挨 拶 校 友 会 副 会 長 釜 井 重 一

平成29年度 事業報告

「運営」

1. 本部と支部及び各地区会員の関係強化の為、支部総会に積極的に参加し校友の輪拡大に努めた
2. 支部活動活性化の為、本部役員が重点支部を絞り参加した
3. 新支部の立ち上げを積極的に図り、尚且つ64支部に対し助成実施した
4. 母校支援事業として教育事業後援資金を提供した
5. 母校主催の「新年賀詞交歓会」・「ホームカミングデー」に協賛した
6. 在学生主催「芝浦祭」「大宮祭」へ支援した【「芝浦祭」平成29年11月3日～5日豊洲校舎にて開催】
7. 資格取得講座(建築士、宅地建物取引士等)の紹介業務を推進した
8. 平成29年度の学部卒業生全員、平成30年度新入生全員に記念品を贈呈した
9. 母校主催の父母懇談会に支部役員及び本部役員が参加協力し後援会との親睦を深めた
全国12会場にて開催
10. 母校学生団体への資金支援協力を実施した
11. 箱根駅伝出場に向けての支援を行い、本年第94回箱根駅伝大会で1区を矢澤健太選手が走行した
12. 校友のための実学サロンを3回実施した
13. 在校生就職支援委員会を6回開催し校友会紹介企業へ学生を紹介し、本年10名が内定した

「会議及び委員会」

- * 定期総会(全国総会) 平成29年6月10日(土)
品川プリンスホテルアネックスタワー5F
午後1時00分～午後1時55分
- * 幹事会 平成29年6月10日(土)
品川プリンスホテルアネックスタワー5F
午後1時50分～午後2時00分
- * 懇親会 平成29年6月10日(土) 約900名参加
品川プリンスホテルアネックスタワー5F
午後2時30分～午後5時30分
- * 新年賀詞交歓会 平成30年1月19日(金)
芝浦校舎 8階801、802大講義室 約180名参加
- * 常任幹事会
 - 第1回 6月20日 ○第2回 7月11日
 - 第3回 12月4日 ○第4回 3月23日
 - 第5回 5月24日

- * 全国支部連絡会(旧:全国支部長会議)
○第16回 6月10日(土)
- * 執行役員会(年間10回開催)
 - ・今任期中の新規事業内容立案
 - ・幹事会及び常任幹事会が審議・決定する基本的な運営方針と重要事項の事前審議
 - ・全国支部連絡会の企画・運営
 - ・幹事会及び常任幹事会にて決定した基本方針を個別化し具体的に業務を執行し、各業務間の調整を行う
- * 総務・広報委員会(年間7回開催)
 - ・大学との連携によるインターンシップの充実
 - ・実学サロンの企画運営
 - ・校友会だより発行
- * 財務委員会(年間2回開催)
 - ・基本財産及び流動資産の整理、統合、管理の徹底
 - ・予算書、決算書作成
- * 組織委員会(年間10回開催)
 - ・校友会 会員名簿(追補版)発行に向けての打合せ
 - ・休眠支部・新支部立ち上げの推進
 - ・支部総会への参加
 - ・外国支部活動の活性化
 - ・新規事業内容の検討
- * 事業委員会(年間7回開催)
 - ・全国総会・懇親会及び新年賀詞交歓会の企画・運営
 - ・資格取得講座への紹介業務拡大(収益事業として)
 - ・校友倶楽部の充実
- * 例規委員会(年間7回開催)
 - ・会則、規則の見直し・制定
- * 特別委員会(年間4回開催)
 - ・箱根駅伝出場に向けての支援及び準備
 - ・課外活動優秀クラブ・学生への支援
- * 在校生就職支援委員会(年間7回開催)
 - ・キャリアサポート課と綿密な打ち合わせ
 - ・卒業生企業訪問会の企画
- * 監査役会(年間7回開催)
 - ・業務監査 ・会計監査
 - ・外部公認会計士との話し合い
- * 支部総会開催(平成29年4月～平成30年3月)
【支部総会開催リスト参照】

平成 29 年度 収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減
《事業活動収支の部》			
【事業活動収入】			
基本財産運用収入	0	6,575	-6,575
・基本財産利息収入	0	6,575	-6,575
会費収入	74,340,000	73,504,000	836,000
・正会員収入	68,040,000	68,080,000	-40,000
終身会費収入 (a)	0	0	0
終身会費収入 (b)	68,040,000	68,080,000	-40,000
年会費収入	0	0	0
・臨時会費収入	6,300,000	5,424,000	876,000
全国総会会費収入	6,000,000	4,817,000	1,183,000
新年交歓会会費収入	300,000	607,000	-307,000
事業収入	16,620,000	17,080,617	-460,617
・全国総会収入	2,000,000	1,390,000	610,000
・新年交歓会収入	300,000	0	300,000
・校友会だより広告収入	3,500,000	3,459,244	40,756
・その他の事業収入	1,000,000	203,965	796,035
・名簿作成収入	1,500,000	932,000	568,000
・CD販売収入	20,000	0	20,000
・資格取得サービス収入	300,000	324,000	-24,000
・校友倶楽部収入	8,000,000	10,771,408	-2,771,408
寄付金収入	0	1,347,860	-1,347,860
雑収入	300,000	67,777	232,223
・受取利息	0	569	-569
・雑収入	300,000	67,208	232,792
事業活動収入計	91,260,000	92,006,829	-746,829
【事業活動支出】			
事業費支出	84,417,823	87,890,215	-3,472,392
・全国総会懇親会支出	17,600,000	18,302,284	-702,284
・支部協力助成金支出	9,250,000	8,858,804	391,196
・会誌発行費支出	1,500,000	1,801,845	-301,845
・名簿支出	12,987,823	13,968,878	-981,055
・教育事業後援費支出	27,295,000	26,778,810	516,190
・その他の事業費支出	5,650,000	4,084,261	1,565,739
・校友倶楽部支出	9,135,000	13,055,333	-3,920,333
・代理徴収返還金支出	1,000,000	1,040,000	-40,000
管理費支出	20,200,000	23,664,855	-3,464,855
・会務運営費支出	16,100,000	20,443,632	-4,343,632
・会議会合費支出	4,100,000	3,221,223	878,777
・管理費内予備費支出	0	0	0
事業活動支出計	104,617,823	111,555,070	-6,937,247
事業活動収支差額	-13,357,823	-19,548,241	6,190,418
《投資活動収支の部》			
【投資活動収入】			
・基本財産取崩収入	19,741,484	19,747,640	-6,156
・保証金・敷金回収収入	0	0	0
投資活動収入計	19,741,484	19,747,640	-6,156
【投資活動支出】			
・基本財産組入支出	20,000,000	20,006,575	-6,575
・什器備品取得支出	0	0	0
投資活動支出計	20,000,000	20,006,575	-6,575
投資活動収支差額	-258,516	-258,935	419
《財務活動収支の部》			
【財務活動収入】			
財務活動収入計	0	0	0
【財務活動支出】			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	-13,616,339	-19,807,176	6,190,837
前期繰越収支差額	113,648,291	113,648,291	0
次期繰越収支差額	100,031,952	93,841,115	6,190,837

平成 29 年度 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)

科 目	中科目	大科目
一般正味財産増減の部		
1、経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用収入	6,575	6,575
基本財産利息収入	6,575	
会費収入		73,504,000
正会員会費収入	68,080,000	
臨時会費収入	5,424,000	
事業収入		17,080,617
名簿作成収益	932,000	
全国総会収益	1,080,000	
校友会だより広告収入	3,459,244	
新年交歓会収益	310,000	
その他の事業収益	203,965	
CD販売収益	0	
資格取得サービス収益	324,000	
校友倶楽部収益	10,771,408	
寄付金収入		1,347,860
雑収入		67,777
受取利息	569	
雑収益	67,208	
経常収益計		92,006,829
(2) 経常費用		
事業費		87,890,215
全国総会懇親会費用	18,302,284	
支部協力助成金	8,858,804	
会誌発行費	1,801,845	
名簿費	13,968,878	
教育事業後援費	26,778,810	
校友倶楽部費用	13,055,333	
代理徴収返還金	1,040,000	
その他の事業費	4,084,261	
管理費		24,448,618
会務運営費	20,443,632	
会議会合費	3,221,223	
減価償却費	783,763	
経常費用合計		112,338,833
当期経常増減額		-20,332,004
2、経常外増減の部		
(1) 経常外収益		0
(2) 経常外費用		0
当期経常外増減額		0
当期一般正味財産増減額		-20,332,004
一般正味財産期首残高		325,775,456
一般正味財産期末残高		305,443,452
指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		0
指定正味財産期末残高		0
正味財産期末残高		305,443,452

平成 29 年度 貸借対照表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1.流動資産		
(1) 現金預金	93,650,447	
(2) 仮払金	0	
(3) 立替金	366,088	
(4) 前払費用	0	
流動資産合計	94,016,535	
2.固定資産		
(1) 基本財産		
預金	202,548,466	
(2) その他の固定資産	9,053,871	
固定資産合計	211,602,337	
資産合計		305,618,872
II 負債の部		
1.流動負債		
(1) 未払金	115,100	
(2) 前受金	7,000	
(3) 預り金	53,320	
流動負債合計	175,420	
負債合計		175,420
III 正味財産の部		
指定正味財産		0
(うち基本財産への充当額)		<0>
(うち特定資産への充当額)		<0>
一般正味財産		305,443,452
(うち基本財産への充当額)		<202,548,466>
(うち特定資産への充当額)		<0>
正味財産合計		305,443,452
負債及び正味財産合計		305,618,872

平成 29 年度 財産目録

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)


科 目	金 額	
I 資産の部		
1.流動資産		
(1) 現金預金等	93,650,447	
①現金手許保有高	1,316,519	
②普通預金	91,374,135	
みずほ銀行浜松町支店	75,809,261	
みずほ銀行芝支店	1,958,017	
三菱UFJ銀行田町支店(会費口)	8	
三菱UFJ銀行田町支店(一般口)	10,761,580	
三菱UFJ銀行田町支店(総会口)	2,825,268	
三菱UFJ銀行田町支店(寄付口)	20,001	
③郵便貯金	959,793	
郵便貯金	0	
郵便振替	959,793	
(2) 仮払金	0	
(3) 立替金	366,088	
(4) 前払費用	0	
流動資産合計	94,016,535	
2.固定資産		
(1) 基本財産	202,548,466	
①基本財産(預金)	202,548,466	
みずほ銀行浜松町支店(定期)	20,075,548	
みずほ銀行芝支店(定期)	20,121,463	
三井住友銀行三田通支店(普通)	20,025,228	
三井住友銀行三田通支店(定期)	10,110,457	
三菱UFJ銀行三田支店(普通)	28,485,726	
三菱UFJ銀行三田支店(定期)	10,110,457	
三菱UFJ銀行田町支店(定期)	10,125,342	
りそな銀行田町支店(普通)	42,051,798	
りそな銀行田町支店(定期)	10,110,970	
郵便貯金(普通)	31,331,477	
(2) その他の固定資産	9,053,871	
①建物設備	7,053,870	
②什器備品	1	
③投資有価証券(株エスアイテック株式)	2,000,000	
固定資産合計	211,602,337	
資産合計		305,618,872
II 負債の部		
1.流動負債		
(1) 未払金	115,100	
(2) 前受金	7,000	
(3) 預り金	53,320	
流動負債合計	175,420	
負債合計		175,420
正味財産合計		305,443,452


平成 29 年度 監査報告


芝浦工業大学校友会
会長 鈴見 健夫 殿

平成30年5月14日

芝浦工業大学校友会

監査役 辻村 建 

監査役 小川 達生 

監査役 飯島 敏春 

監 査 報 告

私達は、平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の会計処理及び会務について、監査を行った結果、以下の通り報告致します。

1. 会計について

会計帳簿、預金証書等の関係帳票を確認した結果、適正に処理されていると認めます。

2. 会務について

会の事務執行体制が整備され、各委員会の活性化が図られている。今後とも、更なる活動的な運営が期待される。

以上

平成 30 年度 事業計画(案)

平成 30 年度 収支予算書(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位：円)

「主要計画」

- 1、 全国総会・懇親会の開催
- 2、 本部と支部の連携強化と支部への多面的支援を図る
 - ・ 支部連絡会の開催
 - ・ 幹事会の開催
 - ・ 全国型大学を目指し推薦高校への支部からの支援活動を図る
 - ・ 大学のグローバル化に対応し海外支部による留学生、インターシップの斡旋等を支援する
 - ・ 各支部への助成及び支部旗作成
 - ・ 支部功労者表彰制度の運営
- 3、 健全な財務を育成する為の策定推進を図る
 - ・ 財産管理の徹底
- 4、 各委員会を充実し、機能の拡大及び積極的活動の強化を図る
- 5、 母校及び在学生に対し支援活動を図る
 - ・ 校友による実学サロンの開催
 - ・ 新入生及び新卒業生への記念品贈呈
 - ・ 箱根駅伝出場に向けての支援
 - ・ 学生団体への資金協力
 - ・ ホームカミングデーの協賛
 - ・ その他大学行事への支援
 - ・ 在学生のための就職支援強化（在校生就職支援委員会）
 - ・ 卒業生企業役員による在校生への面接指導等の支援
- 6、 新幹事と新常任幹事の発掘
- 7、 校友会と後援会の連携・強化を図る
 - ・ 後援会との交流
 - ・ 父母懇談会への参加協力
- 8、 校友倶楽部の運営強化
- 9、 収益事業の促進
 - ・ 資格取得講座への紹介業務の運営
 - ・ 校歌CDの販売
 - ・ 会員名簿の販売
 - ・ 新規収益事業の開拓
(母校グッズ：ネクタイ他販売)

科 目	予算額	前年度決算額	増減(予算-実績)
《事業活動収支の部》			
【事業活動収入】			
基本財産運用収入	0	6,575	-6,575
・基本財産利息収入	0	6,575	-6,575
会費収入	73,380,000	73,504,000	-124,000
・正会員収入	68,080,000	68,080,000	0
終身会費収入 (a)	0	0	0
終身会費収入 (b)	68,080,000	68,080,000	0
年会費収入	0	0	0
・臨時会費収入	5,300,000	5,424,000	-124,000
全国総会会費収入	5,000,000	4,817,000	183,000
新年交歓会会費収入	300,000	607,000	-307,000
事業収入	15,210,000	17,080,617	-1,870,617
・全国総会収入	1,500,000	1,390,000	110,000
・新年交歓会収入	310,000	0	310,000
・校友会だより広告収入	3,500,000	3,459,244	40,756
・その他の事業収入	100,000	203,965	-103,965
・名簿作成収入	500,000	932,000	-432,000
・CD販売収入	0	0	0
・資格取得サービス収入	0	324,000	-324,000
・校友倶楽部収入	9,300,000	10,771,408	-1,471,408
寄付金収入	0	1,347,860	-1,347,860
雑収入	300,000	67,777	232,223
・受取利息	0	569	-569
・雑収入		67,208	-67,208
事業活動収入計	88,890,000	92,006,829	-3,116,829
【事業活動支出】			
事業費支出	69,637,000	87,890,215	-18,253,215
・全国総会懇親会支出	12,100,000	18,302,284	-6,202,284
・支部協力助成金支出	10,117,000	8,858,804	1,258,196
・会誌発行費支出	1,400,000	1,801,845	-401,845
・名簿支出	2,350,000	13,968,878	-11,618,878
・教育事業後援費支出	27,730,000	26,778,810	951,190
・その他の事業費支出	5,900,000	4,084,261	1,815,739
・校友倶楽部支出	9,140,000	13,055,333	-3,915,333
・代理徴収返還金支出	900,000	1,040,000	-140,000
管理費支出	19,060,000	23,664,855	-4,604,855
・会務運営費支出	16,200,000	20,443,632	-4,243,632
・会議会合費支出	2,860,000	3,221,223	-361,223
・管理費内予備費支出	0	0	0
事業活動支出計	88,697,000	111,555,070	-22,858,070
事業活動収支差額	193,000	-19,548,241	19,741,241
《投資活動収支の部》			
【投資活動収入】			
・基本財産取崩収入	0	19,747,640	-19,747,640
・保証金・敷金回収収入	0	0	0
投資活動収入計	0	19,747,640	-19,747,640
【投資活動支出】			
・基本財産組入支出	0	20,006,575	-20,006,575
・什器備品取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	20,006,575	-20,006,575
投資活動収支差額	0	-258,935	258,935
《財務活動収支の部》			
【財務活動収入】			
財務活動収入計	0	0	0
【財務活動支出】			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	193,000	-19,807,176	20,000,176
前期繰越収支差額	93,841,115	113,648,291	-19,807,176
次期繰越収支差額	94,034,115	93,841,115	193,000

平成 30 年度全国総会 会則変更(案)

	【旧】	【新】	【変更理由】
第1章 総則	<p>目的</p> <p>第3条 本会は、芝浦工業大学（この学校の前身校を含む以下「母校」という）の卒業生を中核とする組織で、会員相互の交流と親睦を深め、会員の地域及び職域等における社会活動の増進に寄与すると共に、母校の教職員及び学生との交流と親睦を含め、母校の発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>第3条 本会は、芝浦工業大学（この学校の前身校を含む以下「母校」という）の卒業生を中核とする組織で、会員相互の交流と親睦を深め、会員の地域及び職域等における社会活動の増進に寄与すると共に、母校の教職員及び学生との交流と親睦を深め、母校の発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>第3条の誤字を修正する。</p>
第2章 会員	<p>会員の種別</p> <p>第11条 本会の会員は、正会員、賛助会員、特別会員及び名誉会員とする。</p> <p>2. 正会員は母校によりその学部卒業又は大学院修了が認定された者、並びに前身校である東京高等工商学校、東京高等学校、芝浦高等工学校、芝浦工業専門学校、短期大学によりその卒業が認定された者とする。</p>	<p>改正なし</p> <p>2. 正会員は母校によりその学部卒業又は大学院修了が認定された者、並びに前身校である東京高等工商学校、東京高等学校、芝浦高等工学校、芝浦工業専門学校、芝浦工業短期大学、芝浦短期大学によりその卒業が認定された者とする。</p>	<p>第11条の「短期大学」を正式な名称に修正する。</p>
第4章 名誉会長、 名誉顧問、 顧問及び 相談役	<p>名誉会長、名誉顧問</p> <p>第31条 本会に名誉会長及び名誉顧問を置くことができる。</p> <p>2. 名誉会長には、母校の理事長を推挙する。</p> <p>3. 名誉顧問には、母校の学長を推挙する。</p> <p>顧問及び相談役</p> <p>第32条 本会は、必要に応じて顧問及び相談役を置くことができる。</p> <p>2. 顧問、相談役は、常任幹事会の決議を経て、会長が委嘱する。</p> <p>3. 顧問、相談役は、重要な事項について、会長の相談に応ずる。</p> <p>名誉役員等に関する細目</p> <p>第33条 この会則に定めるもののほか、名誉会長、名誉顧問、顧問及び相談役に関し必要な事項は、名誉役員規則で定めることができる。</p>	<p>名称変更：名誉顧問、特別顧問、顧問及び相談役 名誉顧問、特別顧問</p> <p>第31条 本会に名誉顧問、特別顧問を置くことができる。</p> <p>2. 特別顧問は、母校の理事長・学長とし、会長が委嘱する。</p> <p>3. 名誉顧問は、特別顧問退任時に会長が推挙することができる。</p> <p>改正なし</p> <p>改正なし</p> <p>改正なし</p> <p>4. 顧問及び相談役は、会則第2章に定める会員の資格を有するものとし、常任幹事と同様の活動ができるものとする。但し、顧問及び相談役は、議決権は有しないものとする。</p> <p>5. 顧問及び相談役の解任は、会則第29条（役員及び役職者の解任）の定めに基づいて行うものとする。</p> <p>名誉顧問等に関する細目</p> <p>第33条 この会則に定めるもののほか、名誉顧問、特別顧問、顧問及び相談役に関し必要な事項は、名誉顧問、特別顧問、顧問、相談役規則で定めることができる。</p>	<p>第31条の条文変更に伴い変更する。 第31条の条文変更に伴い変更する。 第31条の名誉会長について、一般に、名誉会長は、会長職にあった者に与える称号であり、母校の理事長は違和感がある。名誉会長を特別顧問に変更し、母校の理事長、学長にその称号を与えるように変更し、特別顧問として、校友会に積極的にかかわっていただく。母校の学長が特別顧問となるため、名誉顧問は、特別顧問を退いた後にその称号を与えるように変更する。</p> <p>第4項に、新たに顧問、相談役の役割を追加する。</p> <p>第5項に、顧問、相談役の解任の規定を追加する。</p> <p>第31条の条文変更に伴い変更する。 第31条の条文変更に伴い変更する。</p>
附則	<p>施行期日</p> <p>第1条 この会則は、平成13年6月3日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成15年6月14日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成21年6月13日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成23年6月11日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成24年6月9日から施行する。</p> <p>一部改正 平成29年6月10日 即日施行</p>	<p>施行期日</p> <p>第1条 この会則は、平成13年6月3日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成15年6月14日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成21年6月13日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成23年6月11日から施行する。</p> <p>この会則（一部改正）は、平成24年6月9日から施行する。</p> <p>一部改正 平成29年6月10日 即日施行</p> <p>この会則（一部改正）は、平成30年6月9日から施行する。</p> <p>会員資格に関する経過措置</p> <p>第2条 旧会則（平成29年6月10日施行）の第11条第2項に定める正会員は、新会則においてもその資格が継続されるものとする。</p> <p>(旧会則の第2条～第7条は、条番号を第3条～第8条に繰り下げる)</p>	<p>第11条第2項の会員資格についての経過措置を追加する。</p>

平成29年度支部総会開催

開催日	支 部 名	開催場所	参加人数
4月8日	高 知	高 知	42
4月15日	香 川	香 川	25
4月28日	清水建設芝浦会	東 京	46
5月19日	山 梨	山 梨	15
5月19日	竹中芝浦会	芝 浦	26
5月20日	北 海 道	北 海 道	54
5月27日	愛 媛	愛 媛	24
5月27日	福 島	福 島	15
6月3日	芝浦技術士会	芝 浦	24
6月14日	沖 縄	沖 縄	16
6月17日	徳 島	徳 島	23
6月17日	福 岡	福 岡	23
6月22日	宮 城	宮 城	26
6月24日	二部ワンダーフォーゲル部OB会	芝 浦	28
6月24日	MOT同窓会	芝 浦	16
7月1日	静岡県同窓会	静 岡	24
7月1日	鹿 児 島	鹿 児 島	25
7月1日	岩 手	盛 岡	10
7月1日	鳥 取	鳥 取	16
7月7日	秋 田	秋 田	18
7月7日	石 川	金 沢	26
7月8日	愛 知	名 古 屋	31
7月8日	スキー部OB会	札 幌	19
7月8日	柔道部OB会	芝 浦	26
7月15日	岐 阜	岐 阜	27
7月21日	多 摩	芝 浦	21
7月28日	川崎市役所	川 崎	18
7月28日	鹿 芝 会	芝 浦	15
7月29日	TBT(鳥人間)OB・OG 同好会	滋 賀	30
8月5日	福 井	福 井	11
8月26日	ヨット部OB会	藤 沢	16
8月26・27日	ソフトテニス部OB会	静 岡	35

開催日	支 部 名	開催場所	参加人数
9月2日	神 奈 川	横 浜	41
9月6日	住 芝 会	港 区	12
9月13日	熊 本	熊 本	20
9月30日	大 分	大 分	16
10月7日	機械工学科同窓会	豊 洲	53
10月21日	埼 玉	大 宮	49
10月21日	ハンドボール部OB会	芝 浦	25
10月28日	新 潟	新 潟	32
10月28日	佐 賀	佐 賀	21
10月28日	青 森	青 森	13
11月4日	山 口	山 口	18
11月4日	島 根	島 根	7
11月10日	東京総支部	豊 洲	45
11月11日	英 交 会	芝 浦	19
11月11日	栃 木	栃 木	34
11月17日	広 島	広 島	67
11月17日	関 西	大 阪	44
11月18日	茨 城	茨 城	53
11月25日	宮 崎	宮 崎	16
11月25日	硬式野球部OB会	豊 洲	13
12月2日	黒 潮 会	芝 浦	10
1月6日	上 海	上 海	10
1月20日	長 野	長 野	15
1月20日	よ ろ く 会	芝 浦	24
1月26日	シンガポール	シンガポール	12
2月4日	岡 山	岡 山	18
2月24日	千 葉 県	千 葉	25
2月24日	山 形	山 形	14
3月2日	山 梨	山 梨	14
3月3日	群 馬	高 崎	41
3月4日	錬 心 会	港 区	20
3月15日	三 芝 会	港 区	15

開催支部 合計 64支部 参加者数 合計 1,587人

平成29年度 校友会功労者表彰

氏名	卒業年・学校・学科	支部名	功績
すどう ちから 須藤 力 (79歳)	昭和37年 芝浦工業大学 土木工学科	黒潮会	<p>須藤先輩は現役時代のご活躍に始まり卒業されてからもコーチや監督として空手道部発展に多大なるご尽力を賜りました。</p> <p>また、黒潮会支部発足時には初代支部長として誠心誠意ご努力され、黒潮会の発展に大きくご貢献され今日の礎を築かれました。</p> <p>校友会功労者表彰に相応しく是非とも推薦させていただきます。</p>
あんどう しゅうじ 安藤 脩二 (82歳)	昭和35年 芝浦工業大学 電気工学科	神奈川支部	<p>昭和36年に湘南支部に副会長として就任され校友会活動を開始された。特に、横浜支部を合併して神奈川支部を設立する準備に尽力され、昭和61年に無事、設立に至りました。その後、神奈川支部で長年、副支部長として活躍され、平成24年に支部長に就任され会員親睦の為に「地引き綱」を発案・実施される等活躍されました。</p> <p>しかし、去年、支部長を退任するとの申し出があり平成29年9月の支部総会でこれまでの功績を讃え名誉顧問に推薦されました。この56年に渡る長い期間、精力的に活躍された事に対して、功労者表彰を推薦致します。</p>
いのうえ まさのり 井上 正教 (78歳)	昭和38年 芝浦工業大学 電気工学科	千葉県支部	<p>井上正教氏は平成13年2月～16年5月まで成田支部長を歴任、当時千葉県内には「千葉支部」「成田支部」「芝浦会」の3団体がバラバラに校友会活動をしていたが、井上氏はこの3団体を統合し「千葉県支部」として、より活動的な校友会支部の設立にご尽力されました。平成16年2月に初代千葉県支部長に就任し、平成28年2月までの12年間、支部活動の先頭に立ってご活躍されました。また、平成21年4月から9年間、母校のバスケット部監督として後輩達に文武両道の精神を指導しています。昨季は関東バスケットリーグ4部中位をキープ、理工系トーナメントでは優勝する等の成果を上げています。</p>
かわさき まさよし 川崎 政善 (71歳)	昭和45年 芝浦工業大学 建築学科	富山支部	<p>氏は昭和45年に建築学科を卒業されるや富山県庁に奉職されました。爾来、諸先輩と連携し富山県内在住校友の把握に努められ、名簿の取り纏めに奔走、尽力され富山支部の基礎を築かれました。永年に亘り、常に支部活動の中心にあって活躍され、幹事、副支部長を歴任、平成24年から28年までの4年間は富山支部長をお努めになり、その後功績は誠に顕著なものでありました。</p>

氏名	卒業年・学校・学科	支部名	功績
しもやま かつひろ 下山 勝弘 (74歳)	昭和41年 芝浦工業大学 土木工学科	青森支部	下山勝弘氏は昭和53年に青森支部を立ち上げた際のメンバーの一人で、以降現在に至るまで支部の発展、拡充に大いに貢献してこられました。現在は顧問の職に就き、後輩の指導をされておりますが、平成21年から2期6年支部長を勤めた時には東北他5県の各支部や北海道支部函館分会との意見交換を積極的に行い、各支部との絆を深めることが出来ました。また青森支部創立35年祝賀会の開催には準備から陣頭指揮を執って、成功裏に終わることが出来ました。これまでの支部活動に多大な貢献をされており、ここに支部功労者として推薦いたします。
のざき かずひさ 野崎 和久 (71歳)	昭和44年 芝浦工業大学 土木工学科	新潟支部	昭和44年新潟県庁入庁、昭和48年より事務局及び会計担当(7年間)、その後昭和55年から平成10年まで事務局長として活動(18年間)、その後幹事の役をやりロボットセミナー開催及び70周年記念の(土の章)新潟県のセミナーで事務局として活動。平成20年新潟支部長に就任し、平成25年まで6年間努め、平成26年より常任顧問として就任し、現在に至りました。現在でも新潟支部総会でも議長役を行っています。野崎氏の長年の多大な功績を認め推薦をいたします。
ささき けんじ 佐々木 健兒 (70歳)	昭和45年 芝浦工業大学 工業経営学科	広島支部	芝浦工業大学に昭和41年(1966年)に入学され、部活動としてバレーボールに入部、背が低いピンチサーバーではありましたが、1年生の時よりレギュラーとして活躍されました。 昭和45年(1970年)卒業とともに、株式会社ユーシンに入社され、品質管理、特許、設計管理等各要職において活躍されました。 一方、校友会広島支部での活動は、平成16年から支部総会に積極的に参加され、平成17年に工業経営学科の科幹事、平成22年事務局会員担当を歴任され、広島地区の中核幹事として会員相互の親睦を図るイベント行事の活性化に奔走されました。平成24年からは事務局長に就任され、ホームページの運営や会員との情報交換を積極的に図られています。 また、最近では広島支部のメールマガジン「広島支部通信」を配信され、広島支部の発展と会員増強に大きく寄与されています。よって「校友会功労者」に推薦致します。

氏名	卒業年・学校・学科	支部名	功績
たけいち まさとし 武市 雅敏 (71歳)	昭和45年 芝浦工業大学 土木工学科	北海道支部	<p>武市さんは、支部創設初期のころより支部活動にご協力頂き、2年前までは幹事長（事務局長）として8年間支部長を補佐し、支部の発展に貢献して頂きました。3年前の支部創立50周年では、記念式典の開催、記念誌の発行と、幹事長として中心的な役割を果たしていただき、盛会のうちに終えることができました。</p> <p>来年で40号となる支部便りには、最初から中心メンバーとして携わり、現在もアドバイスの他に、記事も担当頂き、支部便りの作成には欠かせない存在です。</p> <p>また、札幌で開催している、ロボットセミナーは、立ち上げに尽力され、現在もセミナー開催の2日間は写真撮影、受付等でご協力いただいている、このように、支部役員としてだけではなく、現在も多くの校友会活動にご協力いただいている武市さんを推薦します。</p>
さいとう ただし 齊藤 禎 (83歳)	昭和32年 芝浦工業大学 電気工学科	多摩支部	<p>前支部長が失踪してしまい、一時支部活動が停滞していた時期がありました。平成3年、齊藤さんが支部長として支部を立ち直し、平成9年岡本さんが支部長になる迄6年間に渡り、支部の活性化と会員増強に邁進していただきました。その功績は多大なるもので、今の多摩支部が存続しているのは齊藤様のご尽力の賜物だと感謝致しております。</p> <p>その後支部顧問としてご指導をいただいております、その貢献を高く評価し推薦いたします。</p> <p>主な活動は、総会の実施、交流会の実施、会員増強の方法として地域を細分化して、分会を作り、担当幹事を決めて勧誘した事等です。</p>
しおかわ やすたか 塩川 安賢 (79歳)	昭和36年 芝浦工業大学 建築学科	ハンドボール部 OB会	<p>塩川さんはハンドボールOB会支部の前身でありますOB親睦会の幹事を長きに渡り努め、校友会支部創立に大変尽力されました。また、初代支部長として現役支援や若い人の会員参加等現在の支部活動の基礎を築いていただきました。さらに、支部長退任後も幹事会支援や現役との交流等支部の活動や発展に今なお多大な貢献をされています。よって、塩川さんを校友会功労者として推薦いたします。</p>

氏名	卒業年・学校・学科	支部名	功績
いづみさわ さだお 泉澤 定雄 (71歳)	昭和46年 芝浦工業大学 建築学科	埼玉支部	<p>泉澤定雄氏は、平成16年に、当時ほぼ休眠状態にあった埼玉支部の支部長に就任し、12年の長きにわたって埼玉支部長として校友会を活性化されてこられました。支部長就任後、最初に手掛けたことは7千名を超える埼玉県在住の校友の方々に埼玉支部の存在と活動を知っていただくことでした。そのとき支部費が枯渇していたため、毎年少しずつ広告活動を実施し、ひととおりするまで10年かかりました。この間に校友会の活動に勧誘した若手を支部活動の中核に据え、埼玉支部の若返りを図っています。</p> <p>また埼玉県内の職場にある学友会や芝浦会等々のサークルとの交流も図り、毎年大宮キャンパスで行われる父母懇談会に各職場から若手の参加を促し、就職活動の現状などを父母達にお伝えして、感謝されています。この活動を全国に先駆けて実施したのも泉澤定雄氏です。</p> <p>現在では、老若男女が集い若人の息吹が感じられる支部として全国に知られており、現在の埼玉支部の基盤を築き上げてきた功績は功労者としてふさわしく、推薦いたします。</p>
ひぐち さとみ 樋口 智美 (78歳)	昭和38年 芝浦工業大学 建築学科	スキー部OB会	<p>樋口智美氏は卒業以来芝浦工業大学体育会（当時）スキー部OB会の北海道支部長として永年に亘り、支部長職を担ってきました。その間、支部長任期は規約で定められておりますが、再任で今日に至っております。つまり誰一人樋口氏に対し不満等なく、その人柄は誰もが認めるところであります。4年前にスキー競技で活躍した各大学のOB達が集う「インカレスキーOB会」を発足、今では10大学50人程度が1年に1度懇親会を開催するに至っております。是非この機会に功労者表彰をしていただければ、会員一同これ以上ない喜びであります。</p>

平成 29 年度 課外活動指導者 功労賞

氏 名	功 績
味澤 善朗 (体育会 陸上競技部)	<p>体育会陸上競技部の監督として、2010 年入職以来御自身の専門である長距離ブロックを中心に指導に当たって頂きました。他大学のような専用グラウンドや寮などの施設が無い中で、工夫を凝らし、選手個々に適した練習メニューを与えることで徐々に力がついてきました。其の結果、難しいとされていた箱根駅伝の予選会（5K mを 16 分 30 秒以内で走れる選手を 10 人揃えることが参加条件）に 2012 年より 2017 年まで 6 年連続で参加することができました。ここ数年は、学生の競争力も高まり、出場選手をスポーツ推薦入学者で占める大学に追いつくところまで来ています。中でも、昨秋に行われた 2017 年の箱根駅伝予選会では本学土木工学科 4 年の矢澤健太選手が全体の 88 位に入った為、関東学連選抜に選出され、メディア等でも大きく取り上げられる成果を上げることが出来ました。このことは、当然のことながら味澤監督の指導が無ければ実現しておりません。</p> <p>このように、味澤監督が本学関係者、大学陸上界に与えた功績は計り知れないものがあると思います。</p> <p>皆様もご存知の通り、2018 年 1 月 2 日箱根駅伝本選では本学始まって以来ですが往路 1 区を矢澤健太選手が走行し全国に芝浦工業大学の名をメディア (TV ほか) 通して多いに P R した実績も踏まえ味澤監督の功績は大きく、指導者功労賞に相応しい方だと確信します。</p>
井上 正教 (体育会 男子バスケットボール部)	<p>2009 年以降、男子バスケットボール部で監督として、常に部員の心身の健康を配慮していただき、また O B 会の会長として、O B の方々と現役部員との連携にもご尽力いただき、部員にとっては井上監督は親父であり尊敬する指導者として存在感のある方です。</p> <p>2017 年 9 月～10 月の関東大学バスケットボール連盟・リーグ戦では、4 部 A ブロックで 2 位となり、入賞及び上位チームに入ることが出来ました。また、2017 年 11 月～12 月実施の理工系トーナメント戦では、全ての試合に勝つことが出来、優勝致しました。</p> <p>試合に対する選手たちの粘り強さ、勝利への思いは井上監督の教えであり、今後も現部員初め新規部員の礎としてご指導願うところであり、指導者功労賞に相応しい方だと確信します。</p>

平成 29 年度 母校文化会体育強化育成事業 奨励支援金対象団体

団体名	顧 問	功 績
【体育会】 Formula Racing	斎藤 寛泰	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本自動車工業会会長賞受賞 ② 第 15 回全国学生フォーミュラ大会（94 校参加）準優勝 ③ スキッドパッド賞受賞 ④ ベスト・サスペンション賞受賞
【文化会】 ロボットサークル SRDC	有元 貴史	<ul style="list-style-type: none"> ① 第 31 回 ROBO-ONE（全国大会）優勝 138 チーム参加 ② K H K 杯 2017（東日本大会）準優勝 103 チーム参加 ③ K H K 杯 2017（東日本大会）ブロックトーナメント優勝
【文化会】 Team Birdman Trial	君島 真仁	<ul style="list-style-type: none"> ① 「第 40 回鳥人間コンテスト 2017」 人カプロペラ機 ディスタンス部門（大会唯一 2 人乗り機）で 6625 m （チーム新記録）を飛行し、「SUPPORTER 賞」（大会で 最高に優れた応援 G）を受賞（日本テレビ系で大会出場 他大学に比して多くの時間放映され、母校の名声を上げた ② 「Team Birdman Trial」は鳥人間コンテストをテーマと した映画『トリガール！』（2017 年 9 月全国公開）のモ デルとなったチームであり、映画内で「Team Birdman Trial」の名前&衣装がそのまま使用され、撮影で使用さ れた 2 人乗り機体製作にも協力し、芝浦工業大学のブラ ンド力向上に多大なる貢献をした
【体育会】 陸上競技部	石崎 聡之	<ul style="list-style-type: none"> ① 2018 年 1 月 2 日開催の第 94 回箱根駅伝において、本校 陸上競技部・矢澤健太さん（当時土木工学科 4 年）が （往路 1 区：東京大手町～神奈川県鶴見）本学史上初め ての出場を果たしました矢澤健太さんは、関東学生連合 チームで補欠エントリーされてましたが、当日のエント リ変更により急遽往路 1 区を走行することになり、 結果 1 時間 4 分 50 秒の自己ベストで 2 区走者に無事タ スキを繋ぎ、T V 放映で全国の皆様に芝浦工業大学の名 声を上げてくれました ② 上記快挙は矢澤健太さんの努力の賜物ですが、陸上競技 部の努力無くしては達成出来ない事であり、T V での全 国放映を通して芝浦工業大学のブランド力向上に多大なる 貢献をした

平成30年度

芝浦工業大学校友会懇親会 支部賛助一覧

本総会にあたり下記支部より賛助頂きました

福井支 部	石川支 部	山梨支 部	長野支 部	神奈川県 支部	多摩支 部	東京都 支部	千葉県 支部	埼玉県 支部	群馬支 部	茨城支 部	栃木支 部	福島支 部	山形支 部	宮城支 部	秋田支 部	岩手支 部	青森支 部	北海道 支部
----------	----------	----------	----------	------------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------

京三 支部	川崎 支部	黒潮 支部	英交 支部	沖縄 支部	鹿児島 支部	佐賀 支部	熊本 支部	福岡 支部	大分 支部	高知 支部	徳島 支部	香川 支部	山口 支部	広島 支部	三重 支部	愛知 支部	静岡県 支部	岐阜 支部
----------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------

スキー 部	不動産 建設 芝浦 会	芝浦 技術 士 会	柔道 部	MOT 同窓 会	富山 支 部	新潟 支 部	関西 支 部	熱流体 力学 研究 会 支 部	上海 支 部	ソフト テニス 部	錬心 会 支 部	二部 ワン ダー フォー ゲル 部	機械 工学 科 同窓 会 支 部	竹中 芝浦 会 支 部	住芝 会 支 部	清水 建設 芝浦 会 支 部	鹿芝 会 支 部	三芝 会 支 部
----------	----------------------	--------------------	---------	----------------	--------------	--------------	--------------	--------------------------------	--------------	-----------------	-------------------	----------------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------	-------------------------------	-------------------	-------------------

校友会 支部及び支部長一覧

(平成30年6月9日現在)

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
北 海 道	米 澤 稔	S44・建築学科
青 森	木 村 喜 有	S44・土木工学科
岩 手	遠 藤 龍 一	S50・建築工学科
秋 田	池 田 広 志	S55・建築工学科
宮 城	鎌 田 正 夫	S46・建築工学科
山 形	川 越 進	S46・土木工学科
福 島	斉 藤 敬 一 郎	S34・建築学科
栃 木	池 田 猛	S48・土木工学科
茨 城	増 山 栄	S47・建築学科
群 馬	半 田 公 作	S52・建築工学科
埼 玉	吉 池 富士夫	S51・金属工学科
千 葉 県	金 井 昭 三	S41・機械工学第二学科
東京総支部	谷 川 潮	S45・機械工学第二学科
多 摩	中 根 眞 行	S55・工業経営学科
神 奈 川	長 井 義 明	S47・建築学科
新 潟	臼 井 静 男	S48・土木工学科
長 野	北 村 武 彦	S45・建築学科
山 梨	渡 辺 一 郎	S46・建築工学科
富 山	辻 田 恵 一	S47・機械工学第二学科
石 川	西 正 次	S49・土木工学科
福 井	西 浦 正 三	S45・土木工学科
岐 阜	平 井 良 樹	S57・工業経営学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
静岡県同窓会	鈴 木 和 幸	S50・土木工学科
愛 知	榊 原 周 造	S45・建築工学科
三 重	谷 水 佐 久 也	S50・電子工学科
関 西	松 岡 英 治	S54・建築学科
鳥 取	富 本 哲 郎	S40・電気工学科
岡 山	沖 本 光 昭	S45・通信工学科
島 根	浅 野 正 教	S45・建築学科
広 島	立 木 貢	S43・土木工学科
山 口	福 田 隆 行	S50・土木工学科
香 川	田 岡 哲 也	S57・金属工学科
徳 島	宮 本 博	S47・建築学科
愛 媛	高 木 二 郎	S47・建築学科
高 知	吉 本 哲 生	S50・土木工学科
大 分	河 野 元 勝	S45・土木工学科
福 岡	角 敬 之	S45・工業化学科
宮 崎	尾 形 彰 史	S52・建築学科
熊 本	永 田 昂 生	S42・土木工学科
佐 賀	山 田 清 人	S48・通信工学科
長 崎	藤 本 博 文	S61・工業化学科
鹿 児 島	濱 田 英 俊	S43・電気工学科
沖 縄	仲 西 聰	S56・土木工学科
韓 国	金 範 得	S19・土木工学科

(平成30年6月9日現在)

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
台 湾	江 文 雄	S63・機械工学第二学科
タイ王国	川 口 祐 司	S53・工業化学科
上 海	芝 田 明 久	H4・建築工学科
シンガポール	長 尾 剛	S61・建築工学科
MOT同窓会	西 河 洋 一	H21・工学マネジメント専攻
機械工学科同窓会	畠 中 總一郎	S43・機械工学科
よろく会	小 寺 貴 士	S46・通信工学科
緑 会	井 家 良 明	S35・建築学科
英 交 会	淺 野 昌 宏	S44・電子工学科
黒 潮 会	岡 野 浩 一	S58・建築学科
二部フッダフォーガル部OB会	伊 藤 孝 夫	S51・機械工学科
錬 心 会	阿 部 安 行	S45・建築学科
柔道部OB会	早 川 金 光	S51・建築学科
ギター部OB	渋谷 雅 信	S53・建築学科
芝浦技術士会	鯨 井 武	S56・電気工学専攻
硬式野球部OB会	前 野 和 博	S46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同好会	安 保 知 佳	H27・通信工学科
ハンドボール部OB会	井 出 恵 尉	S47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早 川 昇	S44・建築学科
ヨット部OB会	柴 田 真 利	S59・工業化学科
スキー部OB会	樋 口 智 美	S38・建築学科
熱流体力学研究会	加 藤 善 次郎	S55・機械工学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
奥村組芝浦会	坂 地 世 紀	H8・建築学科
神奈川県庁	鈴 木 祥 一	S56・土木工学科
川崎市役所	藤 倉 茂 起	S56・土木工学科
関電工芝浦会	鈴 木 雅 久	S56・建築工学科
京 三	片 山 雅 則	S56・電気工学科
熊谷組芝浦会	宮 澤 守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳 沢 純 一	S62・建築工学科
三 芝 会	岩 本 毅	S63・建築工学科
鹿 芝 会	増 田 孝 弘	S63・建築工学科
清水建設芝浦会	中 村 行 男	S56・建築学科
住 芝 会	鈴 木 一 巳	H1・電気工学科
大成芝浦会	伊 勢 正 明	H6・建築学科
ダイダン	近 藤 孝	S56・建築工学科
大日本土木	長谷川 勝 己	S56・土木工学科
高砂熱学工業	竹 内 祥 貴	S55・電気工学科
竹中芝浦会	安 岡 千 尋	S57・建築工学科
戸田建設芝浦会	古 越 仁	S55・電気工学科
日比谷芝浦会	岡 本 正 仁	S45・建築学科
フジタ芝浦会	森 田 真 治	S58・電気工学科
芝 友 会	中 村 信 夫	S19・機械工学科
不動産建設芝浦会	清 水 修 司	S44・建築学科
ラグビー部OB会	山 田 豊 人	S54・電気工学科

平成 30 年度 全国総会・懇親会 実行委員会委員リスト

平成 30 年 6 月 9 日現在

実行委員の皆様には、本日の全国総会・懇親会を開催するにあたり、
4ヶ月間ご協力頂きました。心より感謝申し上げます。

実行委員長：永田 昂生

- | | | | | |
|--|--|--|--|---|
| 青木 豊治
赤井 和憲
赤坂 邦雄
秋山 力洋
浅田 浩宏
浅野 昌勝
浅見 真剛
阿部 憲正
新井 博毅
新井 伸春
安齋 恒夫
安藤 定祐
安藤 吉敏
飯島 恒夫
石橋 恒夫
泉澤 初樹
居初 垣人
板垣 川也
市川 出尉
市川 二裕
井出 塚毅
犬塚 本雄
今井 本一
岩本 松男
岩本 毅俊
植松 茂久
内田 義隆
内山 大森
枝大 鴻岡
大森 岡本 | 小川 達生
奥田 耕一郎
貫野 諭等
小野 敬之
角野 和明
加藤 善次
金井 昭三
金井 佑樹
釜井 重一
亀井 義成
荻谷 義治
川口 英希
川野 元勝
河本 勝一
菊地 明彦
北村 宣武
鯨北 圭二
國万 田浩
九雲 然國
倉科 嘉仁
郡司 卓臣
小坂 哲平
小平 和朗
小松 広賢
小宮 山由起
齋藤 敦史
齋藤 教男
齋藤 秀達
榊原 周造
坂地 世紀 | 佐久間 幸一
々々 克則
佐野 茂彰
澤口 洋利
柴田 真信
渋谷 雅司
清水 修夫
清水 信雄
神野 兼次
進木 正博
筋野 司泉
鈴木 一俊
鈴木 卓洋
鈴木 文雄
鈴木 健夫
住友 正樹
関丸 良史
大高 木野
滝澤 昭征
滝下 厚勇
田口 道大
田口 弘志
橘中 武潮
谷川 村稔
田千 葉信 | 辻村 建
角田 隆二
鶴浩 一郎
長井 義明
中川 史毅
中島 聰行
仲根 眞宏
中村 行男
西河 洋一
野上 博文
野末 鉄有
野元 俊夫
橋本 健嗣
長谷川 佳一郎
島中 英光
島濱 野金
濱野 和良
早林 平庄
平井 浩幸
福井 栄隆
福井 忠利
藤井 田辰
藤田 倉哲 | 前野 和博
増田 純一行
増山 栄光
丸山 憲司
武藤 充裕
村島 秀樹
望月 秀晃
望月 雅洋
本森 大助
森川 静理
森岡 千尋
安田 俊司
柳澤 匡治
山口 幸正
山田 清人
山田 豊隆
山本 智夫
山池 富士
横吉 幸秀
吉依 通智
渡有 松野
島田 龍男 |
|--|--|--|--|---|

芝浦工業大学校友会総会懇親会 賛助品提供企業一覧

本総会にあたり下記企業より賛助品を提供いただきました

麒麟ビール株式会社

ウィスキー

株式会社ジャパンビバレッジ東京

お茶

皆様のご厚志とご支援に深く御礼申し上げます。

校歌

旧校歌

第一応援歌

山田耕祐 作曲
北原白秋 作詞

須川政太郎 作曲
有元 史朗 作詞

●荒波浴びる

荒波浴びる芝浦に
そびゆる工大わが母校
伝統ここに五十年
文化の渦潮導きて
静穩精進に敵はなし
おお芝浦エンジンニア

第二応援歌

一、雄図秘めし若人の
胸高鳴るや いかにせん
芝浦健児 ここにあり
正々堂々 たたかわん
最後に取るは 勝利なり
芝浦 芝浦 芝浦

一、朝日に輝く 風と潮

雄大空あり 雲は移る

仰げよ校旗の 翩翩たるを

白亜の殿堂 ここに聳え

われらが工学 英気鐘む

芝浦 芝浦 我等が母校

二、世紀に脈うつ 熱と理性

剛健矩あり 常に鍛う

行へほがらに 澁刺たれや

師弟の純情 一に依りて

磨くにこの技 神に通ず

芝浦 芝浦 我等が母校

三、永遠に栄ゆく 意思と秩序

誠実ただあり 道は徹る

夢むな空理の漠々たるを

精微をきはめて 事に即かば

工学日本 大を成さん

芝浦 芝浦 我等が母校

一、巨鯨潮吹き鵬の舞う 大えいの水洋洋乎

旭陽つけて天そそる 不二の高嶺に雪白く

関東の野に麦萌ゆと 雲雀天に告げんとす

二、東京湾頭波もなく 墨水流れ鷗浮く

都の枢要地を占むる 工の業の学び校の

林は繁しいや栄え やがて花咲き実を結ぶ

三、科学の世界工業の 進歩やまこと駸々乎

先人夢に見しところ 今や現実に現せられ

今人夢に見るところ 明日将に実現す

四、曲学阿世時得とも 夕を待たで濁み散る

槿花一朝の栄えあり 真理に立てる学にして

まことの学の権威あり 学の独立守らでや

五、世界文化に貢献し 人類の平和招くべく

太古バビロンに夢むてふ バベルの塔を築くこそ

学徒の荷う務めなれ 我等の懐く望みなれ

六、キイツはいいぬ美しき ものこそ永遠のかんきなれ

趣味実用を兼ね備う 美の殿堂を築くべき

使命は重しわが肩に 望みは高しわが胸に

二、錬磨の日々ぞ 涙あり

聞けよ王者の おたけびを

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

必ずとるは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦



芝浦工業大学 校友会

事務局 〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内

TEL: (03) 5445-9634 FAX: (03) 5445-9635

U R L : <http://www.shibaura-koyu.jp/>

E-mail: sitfriends@shibaura-koyu.jp